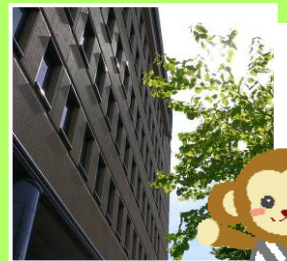


# 教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)  
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280  
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課  
マスコットキャラクター  
しえん君



■特集 教育支援課 平成22年度重点事業

## 仕事の心構え

教育支援課 葛西 文雄

戦後教育の指針ともいえるべき教育基本法が公布されて、その2年後(昭和24年3月)、逸早く「いち」は「いちじるしい」の「いち」と同原。他よりもずば抜けて速く機敏に対処すること)、四日市市に教育研究所が創設された。

「教育公務員の研究修養をはかること」を目的としてである。

教育研究所から教育センター、そして、教育支援課と名は替わったが、当時の先覚の気概を思うとき、「教師の専門性を磨くこと」と「進取の気性をもつこと」を、毎年の第1回目の課内会議で、この歴史を話題にして課員に伝えてきた。

さて、本号では、本年度の重点事業を取り上げた。脈脈と続けてきた事業もあれば、この一・二年

で新しく始めた事業もある。いずれも、新しい息吹を吹き込んで、今まで以上に、学校や教職員、保護者のみなさんにとって魅力のあるものとしたい。

この中で、昨年度に、途切れない支援の一環として、教育委員会と保健所・医療機関と連携して立ち上げた「四日市早期支援ネットワーク事業(YE S n e t)」がある。この事業は、子どもたちの心の健康問題の対応として、学校のみで解決するのは難しい事例が多くなってきたことから、関係者がネットワークを組み、こころの病気の子どもを早期に発見し中学校卒業後まで支援を行うものである。

職種や組織が異なる者が始めて間もないことから、より相互の

コミュニケーションを大切にしたい。皆さんに頼りにされる事業に育てていきたいと念じている。

研究所時代から60年を超えた。しかし、教育支援課は3年目。まだまだ、これから、伸びる若芽で、その芽吹きがかがやきを加える季節を迎える。課員は、20代から年齢60を超えたものまでいるが、誰もが常に見ずみずしい若さをもって仕事をすること、これを、本年度の「仕事の心構え」としたい。



# 平成22年度 重点事業

## 教育支援課 研修・研究グループ



本市の学校教育ビジョンに基づき、今日的な教育課題に対応した研修を実施し、教職員の専門性と実践的指導力を高めるとともに、幅広い視野を備えた教職員の育成および資質向上を目指します。

### 1 「教師力向上サポートブック」活用の推進

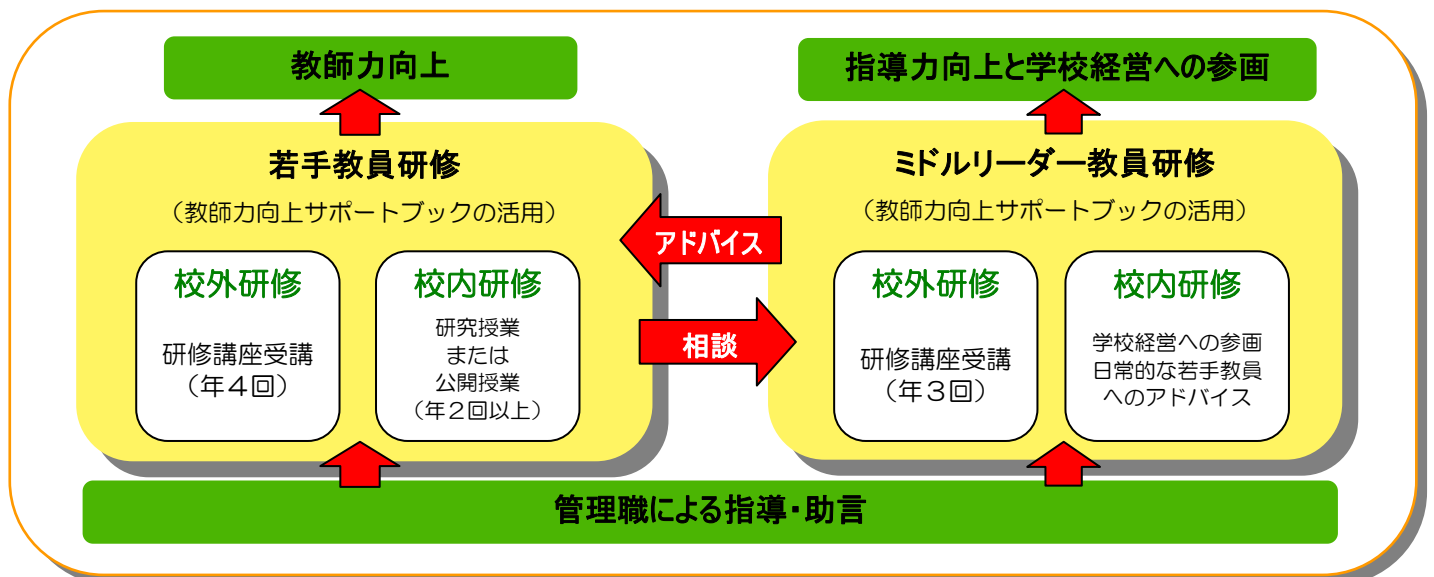
- ライフステージに応じた教師力の向上をはかるため、「教師力向上サポートブック」を活用して一人一人の教職員が個人研修を進めていけるように支援します。
- 講師も含む教職経験3年未満の若手教員に対する研修の充実をはかり、若手教員の教師力向上を目指すため、「若手教員研修」を行います。
- ミドルリーダーの立場にある教員の研修を充実させて自分自身の指導力向上を図るとともに、日常的なアドバイスによって若手教員の教師力向上をはかる「ミドルリーダー教員研修」を行います。



### 2 教職員研修講座の充実 研修講座 133講座 167日

- 「若手教員」や「ミドルリーダー教員」向けの研修講座をはじめとして、それぞれのライフステージに応じた研修講座を充実します。(中堅ステップアップ, 若手スキルアップ講座など)
- 授業づくり研修講座や教育セミナーなど、授業づくりに関する実践的な研修講座を充実します。
- 特別支援教育・ICT活用などの重点教育課題に対応した研修講座を充実します。
- 参加・体験型や実技・演習型の講座など、より能動的で実践的な研修講座を増やします。

● 教育セミナー 8/20(金)  
9:30~16:30  
「ICTを活用した授業づくり①」  
模擬授業, パネルディスカッション



### 3

#### 出前研修の推進

- ICT活用のための出前研修を行い、ICTを活用したわかる授業づくりを支援します。
- 初任者研修や若手教員研修対象者の授業を参観し、研修の進め方や内容等について相談やアドバイスをを行います。

### 4

#### 研究事業の推進

- 重点課題研究推進校による研究
- 教育支援課職員による課題研究(3本)

**小山田小学校//2年次** ★公開日 11/25(木)

一人ひとりが生き生きと活動し、互いに学び合う授業の創造

**中部中学校//2年次** ★公開日 11/10(水)

自ら学ぶ力が育つ授業づくり  
-ICTを活用した授業づくり(わかる授業)-

**笹川中学校//1年次**

「自他ともに大切にすることを育む」…『学び』でつながる、『心』でつながる

**小学校//1年次** (未定)

### 5

#### 教育の情報化の推進

次の3点を推進するために、環境整備・研修・研究・情報発信を行っていきます。

##### 1. 教科指導におけるICT活用

- 興味・関心・意欲の喚起
- 知識・理解の定着
- わかりやすい授業

##### 2. 情報活用能力の育成

- 学校全体としての体系的な情報教育の推進
- 情報モラル教育の推進

##### 3. 校務の情報化の推進

- 教職員用コンピュータによる校務の効率化
- 情報セキュリティの向上

## 平成22年度 重点事業

### 教育支援課 特別支援教育・相談グループ



### 1

#### 四日市市早期支援ネットワーク事業 (YESnet)

YESnet (Yokkaichi Early intervention Service network) は、四日市市において、子どもたちのこころの病気の早期支援とより良い回復を目的として、昨年度設立された教育委員会・保健所・医療機関のネットワークです。

四日市市教育委員会・四日市市保健所・医療機関が協力して、こころの病気の予防・早期支援につとめます。気になる症状がありましたら、教育支援課にご相談ください。

### 2

#### 小栗先生の巡回教育相談

元宮川医療少年院院長であり、発達障害等の子どもへの支援について見識が深い小栗正幸先生が、昨年度に引き続き学校を訪問します。発達障害等の特性がある子どもの様子を見たらうえて、どのような支援が有効であるかについて助言を行います。

### 3

#### 相談支援ファイルの活用

乳幼児期から学校卒業後までを見通して、特別な支援が必要な子どもへの支援が途切れることのないように、相談支援ファイルを活用します。これにより次のような効果が期待できます。

1. 就学先で作成する「個別の教育支援計画」にスムーズに移行するための情報を整理することができる。
2. 保護者が関係機関にかかるときに、子どもについて何度も同じことを語る負担を軽減することができる。
3. 医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関による情報の共有化を図ることができる。



### 4

#### プロジェクトアンダー8事業(四日市市発達障害等早期支援事業)

巡回教育相談等を受けた子どものうち、知的な遅れはないが次のような課題のある子どもや保護者を対象にして、「自信を高めるための4つの教室」を開講しています。早期からの対応を行い、自己肯定感や自信をもって学校生活を送るための支援をします。

1. **幼児ことばの教室** 知的障害に起因しない言語に課題のある子ども (年中・年長児)
2. **まなびの教室** 読み・書き・計算等の理解に課題のある学習障害(疑いを含む)のある子ども (小学校通常学級1, 2年生)
3. **ともだちづくり教室** コミュニケーション力や社会性に課題のある子ども (年中児から小学校通常学級2年生)
4. **子どもの見方・ほめ方教室** コミュニケーション力や社会性に課題のある子どもの保護者 (ともだちづくり教室に参加の保護者)



### 5

#### 特別支援学級担任への訪問支援

特別支援学級の担任経験が5年以下の教員及びそれ以外の訪問支援を希望する教員を対象に、訪問支援を行います。これにより、経験の浅い特別支援学級担任等が、子ども一人一人に応じた個別の教育支援計画の立て方や授業での子どもへの支援の仕方等について研修し、特別支援学級担任としての力量を高めていきます。また教育支援課とのつながりを深め、継続的に支援や相談を受けられるようになります。

原則として、午前中に授業見学、放課後に助言を行います。

### 6

#### 教育相談

不登校や心に悩み・不安のある子どもへの支援として、相談員やセラピストがカウンセリングや諸検査、プレイセラピー等を行います。また、引きこもりがちな子どもの家庭に、学生ボランティア(ふれあいフレンド)を派遣し、子どもの心の安定を図り、自立への支援を行います。

障害や発達上の課題等のある子どもへの支援として、来所相談、学校・園への巡回教育相談を行います。面接や諸検査も実施します。